

哲學研究

第三十五卷 第八册

第四百六號

昭和二十七年三月二十日發行

波多野精一博士追悼號

波多野宗教哲學の立場……………片山正直

— 未定稿「波多野宗教哲學」第一章 —

波多野宗教哲學とシュライエル……………濱田與助
マツヘル……………

ヘブライ思想に於ける神と智慧……………有賀鐵太郎

波多野精一博士の人と學問 (石原謙・山谷省吾・

西谷啓治・田中美知太郎・松村克巳)

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を図ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究会を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に預告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員 有賀鐵太郎

白井二尙

上野照夫

重澤俊郎

下程勇吉

島芳夫

園原太郎

高田三郎

武内義範

田中美知太郎

長尾雅人

西谷啓治

野田又夫

松尾義海

三村勉

矢田部達郎

山内得立

井島勉



波多野精一博士
(1877-1950)

的な言を掲げよう。

眞理の澄み渡る光の中に鮮かなる輪廓を現はしつつ聳え立つこの生の最高峰の姿を、清められたる人間性の眼の及ぶ限りをもつて仰ぎ見る、——これが宗教哲學である。

(丁)

執筆者紹介

石原 謙	元東北大學教授並東京女子大學長 文學博士
山谷 省吾	皇書改譯委員・文學博士 元京都大學文學部(基督教學)講師
濱田 與助	同志社大學文學部(哲學)教授 文學博士
西谷 啓治	京都大學文學部(宗教學)教授 文學博士
有賀 鐵太郎	京都大學文學部(基督教學)教授 文學博士
田中 美知太郎	京都大學文學部(古代哲學史)教授 文學博士
片山 正直	關西學院大學文學部(哲學)教授 文學博士
松村 克巳	關西學院大學神學部教授 元京都大學文學部(基督教學)助教授

前者をカルティヴェイトする。」(J. Royce, The spirit of Modern Philosophy. p. VIII)
 と言う、ロイスが哲學したその精神を身をもつて體驗具現された博士の世にみませし日の節を偲ばんとする筆者の感傷もまた許されるであらうか。哲學研究誌がこの度博士の追悼號を發刊せられるのに際して、筆者にも執筆の機會を與えくださった御厚意を深く感謝する次第である。

昭和廿六年十二月卅一日

(了)

前 號 目 次

轉換の論理……………	長尾 雅人
實存哲學、ニーチェの哲學、……	武市 健人
— 歴史的唯物論の意味の探究のために —	
危機神學の生成とその展開(承前)	樋元 和一
— 近世前期フランス精神史論 —	

次 號 豫 告

ヘブライ思想に於ける神と智慧(完)……	有賀 鐵太郎
キルケゴールの「受取り直し」……………	大 谷 長
危機神學の生成とその展開(完)……………	樋元 和一
— 近世前期フランス精神史論 —	

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會條宛に規定の會費をお拂込下さい
「振替口座京都一九五五八番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帯封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外的一切)の事務は弘文堂内京都哲學會條へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十七年三月十五日印刷
昭和二十七年三月二十日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

三 村 勉

發 行 人 酒 井 明

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 橋 四 ノ 四

印 刷 人 伊 藤 久 春

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 會 社 弘 文 堂

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 橋 四 ノ 四

定 價		冊 數	定 價	郵 税
一	冊	七 十 圓	金 八 圓	
六	冊(前金)	四 百 二 十 圓	金 四 十 八 圓	
十	冊(前金)	八 百 四 十 圓	金 九 十 六 圓	

(註) 誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします

二十七 年 三 月 十 五 日 印 刷 (每 月 一 回)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXV

March, 1952

No. 8

The Basic View-point of Dr. Hatano's Philosophy of Religion Masanao Katayama

Dr. Hatano's Philosophy of Religion in its Relation to Schöpfungsmacher Yosuke Hamada

God and Wisdom in Hebrew Thought (I) Tetsutarô Ariga

Dr. Seiichi Hatano as Scholar and Teacher :
Reminiscences by Ken Ishihara, Shôgô Yamaya, Keiji Nishitani,
Miebitarô Tanaka and Katsumi Matsumura

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan